

中島 なおき



羽生を変える力になる！



略歴 ●S47年11月生まれ A型 184cm 80kg ●埼玉栄高校普通科 ●日本福祉教育専門学校社会教育学科 ●日本大学法学部卒 ●児童福祉施設、社会福祉協議会勤務を経て●H19年、H23年市議会議員一般選挙連続当選●H26年羽生市長選挙にて次点落選 ●選挙後、家族の生活を守るため、民間企業に就職 ●H27年議会議員一般選挙にて、市議選史上最高得票で当選 ●R元年市議会議員一般選挙にて再び最上位当選 ●家族：保育士の妻 長女(19歳)次女(16歳) ●趣味：山登り 洗車 ジョギング ●県政躍進地方議員の会代表(大野元裕埼玉県知事を当選に導く) NPO法人地方議会制度研究センター副代表理事

発行 中島直樹事務所 348-0071 羽生市南羽生4-17-2 「ゼロからの挑戦日記。」 連日更新中！ TEL 070-6488-4588 japanist0422@live.jp

中島なおき 検索

令和2年度3月定例会が閉会！

令和3年度 一般会計予算 **178億3,000万円** 前年度比-3.6% 3億6000万円減

2月24日から3月19日の24日間の日程で令和2年度3月定例会が開かれました。市長提出議案として、令和3年度一般会計予算、各種特別会計予算、水道事業会計予算、令和2年度一般会計補正予算、道の駅はにゅうの指定管理者の指定、市職員の不祥事を受け、市長、副市長の給与を減額するための条例改正、同和対策集会所の名称を変更するための条例改正、農業委員の選任などの48議案が上程されました。

慎重な審査の結果、全ての議案が賛成全員、賛成多数で原案のとおり可決、承認、同意されました。

私、中島は令和3年度一般会計予算と道の駅はにゅうの指定管理者の指定についての2つ議案について※討論を行うため登壇。(討論登壇者 賛成1名、反対3名) 反対の意思表示をしました。

次年度予算案に対して反対討論の方が多いのは **前代未聞!**



※ 議会における「討論」とは？

意見を表明できない質疑に対し、討論では賛成か反対か、自らの意見を表明し、その理由等を述べることができます。討論が終了すると、議案等の賛否を決定する採決となるため、討論は、意見の違う議員を自らの意見に同調させるための最終的な機会となります。羽生市議会の場合、残念ですが、討論を行う議員はいつも同じです。

一般会計予算に反対した理由 (賛成8:反対5)

- ① キャラクター事業は、市役所が目の色を変え、人々から集めた税金を使い行うべき事ではない！民間事業者に全て任せて、収益をあげる仕組みを構築すべき！
- ② 羽生は秩父や川越のような観光都市ではない。観光事業への過剰な人員配置や予算配分は控えるべき！



道の駅はにゅうの指定管理者の指定に反対した理由 (賛成8:反対5)

- ① 過去5年間、売り上げ、来場者とも下がり続けている状況で、当該企業への3年間の随意契約は理解に苦しむ。令和元年に監査委員からも複数の改善点を指摘されている。北の玄関口に相応しい魅力ある施設にするため、※プロポーザル方式により、きちんと管理業者の選定を行うべき！

会議録、中継録画をご確認ください。

市議会HPでは、定例会本会議での中島の発言すべてを、中継録画、会議録でご覧いただくことが出来ます。各地区の公民館には、定例会の会議録が設置されています。限られた紙面では、想いのすべてをお伝えすることが出来ません。ぜひご確認ください。

羽生市議会HP 検索



※プロポーザル方式とは？：管理を希望する業者を募り、企画、提案を競い合わせて管理業者を決定すること

行田市とごみ処理施設の共同建設に向けて動き出す！

●平成26年 鴻巣市、行田市、北本市がごみ処理行政の広域化を目指し、鴻巣行田北本環境資源組合を設立 令和6年の施設稼働を目指す。

この時に羽生市長は、鴻巣、行田、北本の3市の枠組みへの加入を打診するも叶わず。

●令和元年 行田市長選挙において、ごみ処理施設は鴻巣市内ではなく、行田市内での建設を訴えた候補が現職を破って当選。12/13 鴻巣行田北本環境資源組合の建設事業を白紙に戻すことを鴻巣市長が表明。

●令和2年 2/13 新聞3紙に行田市の定例会見で広域ごみ処理で羽生市に合同調査を打診した旨の記事が掲載。同年3月定例会の中島の一般質問では、市長は単独、広域化の明言は避け、「広域化は選択肢のひとつ」といった答弁を行う。しかしながら、市長は複数の団体の席において、羽生市単独でのごみ処理施設の建設を示唆する発言を繰り返す。



単独建設より、広域化したほうが、将来の財政負担や環境負荷を軽減出来ることは明白です。にもかかわらず、市長が単独建設にこだわった理由はどこにあったのでしょうか？

●令和2年 12/23 事態は一変。行田市と共同でごみ処理施設を建設することを決定。

●令和3年 3/16 行田市役所において、行田市、羽生市による「一般廃棄物処理施設の共同整備に関する基本合意」を締結。

行田市・羽生市による

「一般廃棄物処理施設の共同整備に関する基本合意」

- ① 行田市と2市で共同して施設を建設し、ごみ処理を行うこと
- ② 建設地は、**行田市大字小針地内**(小針クリーンセンター隣接地)とすること
- ③ 行田市・羽生市による協議会を設置すること

●羽生市単独で施設整備した場合 20年で要する経費試算は **約197億円**

●行田市と共同で施設整備した場合 20年で要する経費試算は **約153億円**

共同で建設した場合20年で **約44億円**の節減効果あり！(羽生市試算)

●広域化の良い面

- ・建設費、管理運営費が削減される
- ・ごみ焼却熱による発電が可能
- ・建設にかかる交付金2分の1
- ・処理能力が大きくなることにより 有毒物質が削減

●広域化の悪い面

- ・新たな用地取得に経費を要する
- ・収集運搬距離が長くなる事による経費が増える
- ・変わらず。行田、羽生の場合、広域化の悪い面は見当たらない。



私、中島は、これまで一貫してごみ処理行政の広域化を推進してきました。今回、羽生市長は、ごみ処理施設の建設方針を、突如広域化に転換したことについて、様々な感情が入り乱れているのは正直な胸の内です。しかし、羽生市の将来的な負担、環境負荷の軽減、市民生活の利便性の向上を考えた場合、未来志向の賢明な判断であると確信しています。今後、少子化、高齢化はますます進みます。大幅な税収増は見込めません。決して右肩上がりではない現代において、経常経費を減らしていくか？積極的に考える必要があります。最短でも建設まで7年を要するといわれる行田市との協議がこれから本格的に始まります！

令和2年度 3月定例会 中島なおき 50回目の一般質問 市政を問う!

議長を除く13名の議員のうち、11名が一般質問を行う。



老朽化が著しい昭和58年建設の羽生市清掃センター

老朽化の象徴！コンクリートが劣化し崩れてしまったため付け替えられた煙突

平成9年ダイオキシン対策で建てられたバクフィルター、減温塔
R元年4億3780万円かけて改修

令和2年3月現在

- 彩北広域清掃組合が解散してから現在まで(15年間)の焼却施設修繕費は **約20億円**
- 現在、令和15年まで維持させる計画14年間の修繕見込み額 **約18.5億円**
- 単独での建設費見込み額 **約54億円**

加えて、単独での建設では、政府からの交付金が少なく、将来への財政的負担、環境負荷が大きくなる。

①ごみ焼却施設の広域化に向けて

1月下旬、ごみ処理行政を行田市と広域化する旨の決定がなされた。しかし、2市の具体的な協議はこれから始まるものであり、広域化を実現させるには、数々の障壁を一つひとつ乗り越えなければならぬ。具体的な協議が始まる前に以下の点について伺う。

- ①市長の基本政策である「単独での自主自律」との整合性
- ②市長は、非公営の場では単独処理を公言していたが、方針を単独から広域化に変えた理由
- ③今後、人々どのように説明責任を果たしていくのか

答弁 ①②市長 ③経済環境部長

①「自主自律」とは、自発的に自分で考え、行動し、自身自身の規範に従って自分自身を律する。という意味であり、単独行政を推進するものではない。行田市との「ごみ処理行政の広域化は「単独での自主自律」の理念と整合は図られていると考える。

②令和元年度の時点では事実上、羽生市が単独でごみ処理施設の整備を進めることしか選択肢がなかった。しかし、昨年6月に行田市から広域処理に向けた検討について正式に誘いを受け、勉強会を行う中で、方針に行田市と違くないことが確認できたため、行田市と広域化により、ごみ施設整備を行う羽生市の方針を決定した。

③大規模な事業となるため、十分に透明性を確保し、情報開示に努める。



②職員への贈収賄事件を受けて

市の業務を委託する業者選定で、便宜を図る見返りに現金を授受したとして、1/11、収賄容疑で建設課長と自営業者が県警に逮捕された。以下について伺う。

- ①当該職員が逮捕されたから懲戒免職になるまで、18日間を要した理由
- ②当該業者は平成22年から市の業務を請け負っていたと報道されている。その経緯は
- ③当該職員は当該業者に仕事を請け負わせるため、強引な手法を用いていたと漏れ伝わっている。具体的状況は
- ④令和元年12月定例会において随意契約に関する質問を行った。羽生市は、個人の判断で契約が左右されることは困難との見解を示していたが、今回の事件は個人の判断で契約が左右された。見解を伺う
- ⑤業者や各種団体からの市長、副市長、教育長を含めた市職員へのお心遣い(贈り物)の現状

答弁 総務部長・企画財務部長

①10月下旬に当該職員が警察に任意聴取を受けていることが判明。1/11に逮捕された。その後、18日に初めて面会。市として事情聴取を行った。当該職員が逮捕容疑を認めため、26日職員賠償責任等審査委員会を開催。29日付で懲戒免職処分を行った。

②当該業者は、平成21年7/10付で小規模契約希望者登録名簿に登録された。清掃、除草の2業種を申請。平成22年以降に見積もり合わせに際し、見積徴収参加業者として選定された。

③事件の具体的な状況については、捜査上の秘密となるため、公表は控えてほしい旨の要望が、警察、検察から届いている。答弁は控える。

④中島議員が危惧していたことが現実となってしまった。市としては、残念に思うとともに、深く反省している。

⑤の答弁について私的考察 私の事前の調査では、業者、各種団体等からお心遣い(贈り物)を受けている職員が市役所には少なからずいることは現実です。そのこと自体は違法ではないでしょう。しかし、お心遣いを受けたことで契約等を含めた業務に影響を及ぼしかねません。お心遣いの授受について、調査すらしなことは、組織の浄化作用が全く機能していない証左です。この答弁の裏側を動かさずしては私だけなのではいまいか？



新型コロナウイルス感染症関連情報

羽生市でもワクチン接種に向けて準備が進んでいます!

- ワクチン接種推進担当を設置
- 接種会場：市体育館、ワークヒルズ羽生等を準備
- ワクチン接種は5月中旬からを予定しています。(3/30現在)
- 3/21に1都3県の緊急事態宣言が解除されたことを受けて、市では4/1から、公共施設等の夜間貸し出しを再開しています。市のイベントや行事は状況に応じて個別に判断します。



写真で見る活動記録!

感染症対策のため、市の行事、市議会の行事、地域の行事のほとんどが中止されています。そんな理由から普段のレポートに比べると、活動記録が少なくなっています。



戸田市議会議員選挙の応援
戸田の菅原市長、金野県議とともに青年地方議員の会とともに学ぶ、佐藤たかの候補の応援！駅前では応援演説!



市道路線の認定・廃止箇所を確認
3月定例会の都市民生員会の初日。今泉地区(株)伸興化成東方の市道路線の現況を確認。



令和3年3月定例会にて
市政に対する一般質問で要した時間は制限時間60分きっちり。議案に対する反対討論も正々堂々行う。



齢48。加齢に抗う日々
14年前、来客用に建てたはずの庭のプレハブがいつの間にか筋トレ部屋に。プロテイン、鶏むね肉、卵の摂取が欠かせない日常になる。(笑)